

# 西諸地域医療構想調整会議議事録

## 1 日時

平成30年6月19日（火曜日） 午後7時～午後7時45分

## 2 会場

小林市堤3020-13 小林保健所 多目的ホール

## 3 出席者

### (1) 関係者（計10名）

一般社団法人西諸医師会 会長 内村 大介  
一般社団法人西諸医師会 副会長 園田 定彦  
一般社団法人西諸医師会 理事 丸山 賢幸  
一般社団法人西諸医師会 監事 丹 光明  
小林・えびの・西諸薬剤師会 会長 簗原 哲也  
宮崎県保険者協議会 高原町町民福祉課長 馬場 倫代  
小林市 健康福祉部長 嶽本 強  
小林市立病院 事業管理者 坪内 斉志  
えびの市 健康保険課長 原田 和紀  
高原町 ほほえみ館長 上村 洋二

### (2) 小林市立病院新改革プラン説明者（計2名）

小林市立病院 事務部長、経営企画担当

### (3) 事務局（計5名）

小林保健所

所長、次長（総括）兼総務企画課長、次長（技術）兼衛生環境課長、総務企画課職員2名

## 4 議題

(1) 小林市立病院新改革プランの見直しについて

(2) その他

## 5 会議経過及び主な意見等

(1) 小林保健所長 挨拶

(2) 議長選出

西諸地域医療構想調整会議運営要綱（以下「要綱」という。）第4条の規定により、議長として一般社団法人西諸医師会会長内村大介氏を選出した。

### (3) 議事録署名人選出

要綱第7条第2項の規定により、議事録署名人として、一般社団法人西諸医師会副会長の園田定彦氏、高原町ほほえみ館長の上村洋二氏を選出した。

### (4) 議題1 小林市立病院新改革プランについて

病院の説明者が入室後、資料1、2、3に沿って小林市立病院事務部長、経営企画担当から説明が行われた。

その後、次のとおり質疑応答が行われた。

#### (関係者)

産婦人科の分娩の目標値はどのくらいを設定しているのか。

#### (小林市立病院)

最初の目標である、365日一人体制の医師確保を最低とした場合は、昨年度9月の記者会見では150から200程度と話をしている。

しかし、現状では、高齢者出産や帝王切開となる異常分娩が増えており、10件に1件が異常分娩であるため、帝王切開まで一人に対応していけるのか等、7月に着任する産婦人科の医師、大学と協議をし、目標値については検討したい。

#### (関係者)

新改革プランの変更の中で、産婦人科病床は何床設けるのか。

#### (小林市立病院)

産婦人科の専門の病床は、4床となる。

それ以外は、婦人科も含めて、一般病床で対応していく可能性はあるが、その値については、現時点では、明言することができない。

#### (関係者)

いつぐらいから分娩再開を予定しているのか。

産科だけでなく、婦人科に伴う急性の患者さんの受入を行っていくのか。

#### (小林市立病院)

分娩再開の時期については、秋以降で考えている。

また、婦人科については、現時点では対応していきたいと考えているが、着任する産婦人科の医師と相談し、体制を構築した上で、対応できるかどうかを検討したい。

医師本人は、婦人科の患者さんの対応や手術についても行っていきたいとしているが、その先生が不在のときの対応等、他の体制が決まっていないため、今後検討していく必要があると考えている。

質疑終了後、議長が関係者に意見を求めたところ異議はなく了承された。

### (5) 議題2 その他

#### (関係者)

6月9日から12日の期間で高原町6月議会が開催された。昨年の12月議会、今年の3月議会、今回の6月議会と3期連続で地域医療構想についての一般質問があった。

今回の質問は、今年5月16日に厚生労働省で開催された地域医療構想のワーキンググループで議論された、「地域医療構想アドバイザーの設置」について、2月7日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長名で出された「医療構想計画の進め方」についての内容を問われるものであった。

医療計画にあるように、病床数の減がそのまま現実になった場合、西諸管内の住民の方々が十分に医療を受ける機会が失われてしまうのではないかとことを議員が心配されての質問であった。

医療構想計画の進め方や、今後の調整会議についても年4回程度は開催するようにとの通知内容であったため、今後の調整会議について、具体的にどのように進めていくのかを教えてください。

### (事務局)

調整会議の進め方については、基本的には、協議すべき内容がないと開催することが難しいと考えている。

今後については、昨年、各病院が厚生労働省に報告している病床機能報告の各病院毎の結果が判明するのが、8月ぐらいになるとのことであり、その結果が判明した時点で、調整会議を開催し、必要病床数と病床機能報告で報告している病床数の違いについて、皆様に御意見をお伺いしたいと考えている。

また、県が宮崎大学に委託している「医療資源調査・分析」について管内すべての病院の報告が出そろった時点で、これについても意見を伺いたいと考えている。ただ、時期が不明であるため、病床機能報告に間に合う場合には、同時に開催したいと考えている。

今後は、必要病床数で決められた病床機能毎の病床をどのようにやっていくか議論をお願いすることになると考えているが、開催回数については、内容を見ながら事務局の方で検討していきたい。

なお、アドバイザー制度は、国のワーキンググループでは議論されているが、県では全く方向性が決まっていないため、方向性が見えたら、構成員の皆様に具体的な話ができるのではないかと考えている。

現時点では、県の方針が決まっていないため、はっきりした段階で報告したいと考えている。